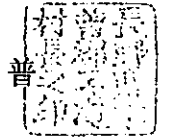




20王建第10-2号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

王滝村長 瀬戸



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付国道企37号にて依頼の標記については、別紙のと
おり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 王滝村

道路特定財源の一般財源化に伴い道路に対する財源の明確化又、地方に対する道路財源の確保

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１地域の現状と抱える課題

長野県 王滝村

○現状

当村は、観光産業を柱に地域経済の振興が図られてきた。しかしながら景気低迷による観光産業の落ち込みが著しく、村全体の財政がきびしい状況であります。

又、村内外の交通手段は鉄道等がないため、自動車にたよらざるをえない。

そんな中で観光産業の再生が急務であるが、観光客の新たなニーズによる高規格の道路整備の要望や必要性が高まっています。しかしながら、急峻な地形要因と整備に多額の事業費を要する為に整備延長が進まないのが現状です。

村内の生活道路である村道は、年々限られた財源の中で歩道・交差点・橋梁等の未改良部分や落石危険箇所について実施がされてきましたが、なおも多く未着工部分が存在し、住民生活の基礎的条件として早期の改良が望まれています。

他町村と結ぶ道路として「県道御岳王滝黒沢線」は順次改良が実施されていますが県も厳しい財政事情により整備が中々進んでいない状況にあります。

○課題

本村の袋小路を解消するため岐阜県へ通じる道路「県道王滝加子母付知線」は、全面供用までにはなお多くの課題が残されています。

今後都市との交流拡大、観光客の入り込み増加、地域経済の活性化を推進する上で道路整備は過疎地域にとっては必要不可欠となります。しかし、これらの問題の解決は短期的には望めず、当面の村の財政事情の中では建設事業費への投資は不可欠な状態にあります。長期的展望に立って交流拡大に向けた新たな発想にたった整備が必要となります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

長野県 王滝村

活力ある地域社会の実現と住民の生活環境の向上を図り快適な生活幹線道路網と広域交通網の整備に向けた活動展開を引続いて実施し、地域へ訪れてくれる人たちを温かく迎え入れるための道路景観を地域住民みんなの力で取組んでいきます。